

心理学科

4年間のカリキュラム

基礎から専門へスムーズに移行するカリキュラムを構成。心理学で重要となる分析力を養う科目も充実しています。

	1年次以上	2年次以上	3年次以上	4年次以上	
専攻科目 / 基礎専攻科目	演習・卒業論文に関する科目	◎基礎演習Ⅰ・Ⅱ	◎演習Ⅰ(A) ◎演習Ⅰ(B) ●プレゼンテーション法	◎演習Ⅱ(A) ◎演習Ⅱ(B) ●卒業研究A・B	
	研究法に関する科目	◎心理学研究法 ◎心理学統計Ⅰ	心理学研究各論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 心理学統計Ⅱ 心理学文献購読 心理学外書購読 研究情報収集法	消費者行動研究法 心理学統計Ⅲ	
	実験・演習に関する科目		◎心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ	▲心理学演習(検査) ▲心理学演習(面接) 心理学調査実習 ▲消費者行動分析実習	▲心理実習
	基礎専門に関する科目	◎心理学概論Ⅰ・Ⅱ ◎社会・集団・家族心理学Ⅰ ◎発達心理学Ⅰ ◎文化心理学	◎知覚・認知心理学Ⅰ ◎教育心理学 ◎臨床心理学概論	心理学史	
	認知領域		神経・生理心理学 知覚・認知心理学Ⅱ	★実験心理学 感情・人格心理学 学習・言語心理学	
専攻科目 / 応用専攻科目	教育発達領域		★発達心理学Ⅱ 社会・集団・家族心理学Ⅲ 老年心理学	教育・学校心理学 キャリア発達心理学	
	社会産業領域		社会・集団・家族心理学Ⅱ コミュニケーション心理学 消費者行動心理学	★対人関係心理学 産業・組織心理学Ⅰ	
	臨床領域		臨床カウンセリング心理学 障害者・障害児心理学 心理的アセスメント 健康・医療心理学 人体の構造と機能及び疾病	◎心理学的支援法 関係行政論 産業・組織心理学Ⅱ 福祉心理学 司法・犯罪心理学 公認心理師の職責 精神疾患とその治療	
	文化・環境領域		スポーツ心理学	★日本人の心理 ★環境心理学	
	その他	生命倫理学 国際共生とNGO 情報活用基礎 情報処理応用ⅠA~ⅠE 除法処理応用Ⅲ		芸術療法 近代教育史 障害児教育論 精神保健福祉論Ⅰ 教育哲学 マーケティング論	

※その他、共通科目があります。P.36~37参照

◎:必修 ●:選択必修 ★:講義は英語で行われます ▲:履修には条件があります。

ZOOM IN カリキュラム

心理学実験Ⅱ

人の記憶やコミュニケーションについてなど、身の回りの疑問を解決するために実験を行います。5名程度のグループで1つのテーマを決め、自分たちで実験を考え、準備し、実施し、データの分析を行って結果を発表することで、心理学の研究に必要な思考力・分析力・表現力などを身に付けていきます。

産業・組織心理学Ⅱ

働く人とストレスやうつ病といった、現代社会に生きる私たちが直面する職場のメンタルヘルス問題を取り上げます。グループワークやビデオ学習を行いながら、さまざまな事例を通して「健康で元気に働く」ために大事なことを考えることで、援助者に必要な視点だけでなく、将来働く自分の姿を考えるきっかけにもなるでしょう。

TOPIC

九州学生心理学会

久留米大・鹿児島大など、九州内のさまざまな大学で心理学を学ぶ学生が集まり、年に1回、自分たちが行った研究を発表し合う場が、九州学生心理学会です。西南学院大学の心理学科では、毎年3年生が参加し、グループで心理学の実験・調査などを行った結果を発表しています。2019年度は西南学院大学が会場となったため、ホームページ作り、宣伝、他の大学との連絡や交渉など、運営から全て学生たちが行いました。



教員紹介

- 花田 利郎 教授【臨床心理学、カウンセリング】
- 中村 奈良江 教授【認知心理学】
- 進藤 啓子 教授【臨床心理学】
- 田中 孝志 教授【教育心理学、対人コミュニケーションの心理学】
- 浦田 英範 教授【臨床心理学】
- 柳澤 さおり 教授【社会心理学、産業・組織心理学】
- 安藤 花恵 准教授【認知心理学】
- 井上 久美子 准教授【発達心理学】
- 小川 邦治 准教授【臨床心理学、産業カウンセリング】
- 田原 直美 准教授【社会心理学、産業・組織心理学】
- 續木 智彦 准教授【スポーツ心理学】
- 分部 利紘 准教授【消費行動心理学、認知心理学】

主なゼミテーマ

- 発達心理学領域
- 自己概念、ストレス、健康、キャリアデザイン
- 災害時の心のケアを含む心理的援助 カウンセリング・心理療法
- 人の社会的行動
- 認知心理学(特に感性・情動・身体・芸術などにかかわる領域)についての知識・研究法の理解と研究の実践
- ストレスマネジメントに関する領域、トラウマ関連に関する領域、子どもの臨床の分野
- 未来を拓くプロジェクト—働く人々が抱える問題の解決に向けて—

PICK UP (ゼミの学び)

「ゼミテーマ」社会心理学的なアプローチによる人間行動や社会的現象の実証的検討
田原 直美 准教授

人の行動への理解を深め、人や社会を多面的に捉える力を身に付ける。

性格や能力と結びつけられがちな「行動」は、実は他者や環境から強い心理的影響を受けています。その影響に目を向けることは社会で解決すべき課題の発見と効果的な解決に役立ちます。本ゼミでは集団活動や組織行動などの現象を、人の心の過程に着目して実証的に解き明かします。学生は各自でテーマを決めて情報収集や統計的な分析を行いながら研究。社会課題を多面的かつ客観的な思考で解決する力を養います。



STUDENT'S VOICE

将来は、人々がかけがえのない人生をより幸せに送るための手助けをしていきたいです。

佐藤 祐輔 人間科学部心理学科 4年
(福岡県・福岡県立明善高等学校出身)

授業の中で特に興味深いのが「臨床カウンセリング心理学」です。自分の心身で感じたことを言語化し、自らのこころの動きに気づいたときは感動しました。ゼミではよりよく人生を送るサポートをするための「こころのケア」を専門とする臨床心理学を学んでいます。自分の興味のあるテーマについてのプレゼンテーションなどを通して人前で話す度胸も自然と身に付きました。卒業後は大学院へ進学し、世界中の人々の一度きりの人生をより幸福に、より健やかに送る手助けになる仕事に就きたいです。そのために週1回、心理学科の先生のアドバイスをを受けて、心理学に関する英語の文献を読む勉強会にも参加しています。



FAQs

Q 授業で数学を使うと聞きました。どの程度のレベルが必要ですか？

ANSWER

統計学の授業で数学を使います。数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bを履修していることが望ましいです。「心理学統計Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」で数学を用いるほか、実験や調査を行う上で、数学的な考えが求められます。統計法の授業では、数学が苦手な学生であっても取り組みやすく、理解できるように、数式をできる限り用いず、スチューデントアシスタントを配置するなど配慮しています。

Q 西南学院大学心理学科の特徴を教えてください。

ANSWER

実社会で役立つデータ分析スキルやカウンセリングスキルが身に付けられます。消費者行動の分析など、企業や公的機関をはじめとする実社会で役立つデータ分析スキルや、良好な対人関係の構築・維持に関わるカウンセリングスキルを修得できます。

心理学部

外国語学部

商学部

経済学部

法学部

人間科学部

国際文化学部